

横浜市立南山田小学校 令和元年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
ともだちいっぱい かがやく こ ～ゆたかに かしこく たくましく 自分を創りだそう～	○主体的に考え学び続ける力 ○他者と協働し、解決していく力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
○子ども一人ひとりが主役の学校を創造し、健康で楽しく安心して過ごせる魅力ある学校づくりに努め、自ら考え進んで行動する子どもを育む。 ○一人ひとりが自己有用感を育み、他者と協働し、多様な価値観を認め、支え合え、共に学ぶ児童の育成を目指す。 ○家庭地域との連携を深め、地域の教育力の活用やさまざまな交流により、地域に開かれた特色ある学校づくりに努め、地域（横浜・都筑）や社会に関心を持ち、共に共生してゆく意識を育む。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

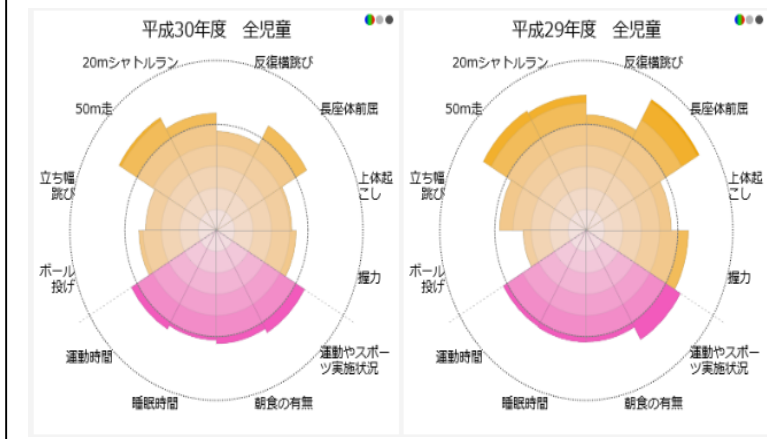
重点取組分野	具体的取組
健やかな体	○自ら進んで運動に取り組み、健やかな体と心を育てようとする態度を育成する。 ○心と体に関心を持ち、体育の学習等に積極的に運動し、自ら進んで健康づくりに取り組めるような授業改善を図る。 ○新体力テストの結果等を保護者と共有するなど、家庭と連携した体力の向上、生活習慣の改善を図る。
担当	体育部
	○体力向上1校1実践運動を、年間を通して継続して行っていく。

2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体力・健康に関する実態

基本的な生活習慣のよい児童が多い。また、学区は緑地や公園、せせらぎが広がり、健康的な環境が整っている。校庭は児童数のわりに狭いが、神無公園や地区センターなど地域の施設を体育の授業などに利用することができる。一方で、習い事や塾に通う児童が多く、放課後に十分体を動かすことができないという児童も少なくない。現代的なストレスを抱えている児童も多いと思われる。そのため、体を動かす機会や時間を確保し、運動に親しむ態度を育成していく必要がある。

(2) 体力の概要と要因の分析



新体力テストの結果から、生活状況は全国平均とほぼ同等の記録が出ている。体力は、ボール投げ、立ち幅跳び、反復横跳びが全国平均よりかなり低い値が出ている項目が多い。地域柄塾に通っている子が多いのと外遊びよりもゲームをする子が増えているため、体力がつかないのが原因と考えられる。また、通学距離も短く、普段の生活で体を動かすことが少ないといった地域の特徴が考えられる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科の取組》

健康な生活を実践する態度、事故の健康のために主体的に課題解決する力を育成する

- ・子どもがそれぞれの運動特性に触れた楽しさを実感できる体育科の授業づくりの工夫
- ・体を動かす機会や時間の確保
- ・短縄跳び、長縄跳びの継続的な実践

《他教科での取組》

心身の健康な生活を実践する態度を育む

- ・学校保健委員会の開催
- ・家庭科において食育との関連を図り、栄養士と担任もしくは専科との授業を実践する

特別活動・総合的な学習の時間

規則正しい生活をしようとする態度、進んで運動しようとする態度を育む

- ・子ども一人ひとりが目標をもって取組、体力や健康に関する課題を解決させながら進める運動会
- ・保健委員会による手洗い・うがいや早寝・早起きなどを促進させる取組
- ・運動委員会による長縄大会、短縄チャンレンジタイムやクラス対抗ドッジボールの取組
- ・養護教諭や栄養職員と連携した歯磨きや給食指導などによる自分の生活の状況を見つめ、学んだことを実践できる力を育む特別活動の授業づくり

課外活動

- ・健全な食生活を営む態度を育むために、給食の時間を活用し、栄養やマナーなどの食に関する指導を行う。
- ・学校保健委員会では生活習慣に関するテーマを設定し、各学級が日常的に実践しやすいような取り組みを設定する。

令和元年度 南山田小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 短縄跳び、長縄跳びの取組

《ねらい》

○短縄跳びを継続的に行うことで、自ら進んで運動に取り組み、健やかな体と心の育成

○クラスで長縄跳びを取組むことで、仲間と関わる楽しさ、体を動かす楽しさを味わい積極的に運動に取り組もうとする態度を育成する

《内容》 運動機会確保への取組、規則正しい生活習慣への取組を、児童会活動による子ども主体の取組で進める。

- ・運動委員会 前期：全校長縄大会の実施
(発達段階に応じた短縄カードの活用)
後期：全校ドッジボール大会の実施

- ・保健委員会 学校保健委員会と連動した取組の実践
手洗い・うがいや早寝・早起きの啓発、取組の推進

●指 標：○生活実態調査から検証と分析を行う。

○新体力テストの結果から検証と分析を行う。

○短縄カードや学習カードなどから検証と分析を行う。